

放課後等デイサービス ぴっころんど 事業所自己評価シート

職員による自己評価

※スタッフ13名にアンケート用紙を配布。
そのうち、7名がアンケートを実施。

環境・体制整備

利用定員とスペースとの関係は適切であると回答しているが、設備及び職員の配置数の評価はどちらともいえないが多い。

業務改善

保護者等向けアンケート調査の実施及び活用は評価されているが、目標設定と振り返りの参画や、この自己評価の結果の公開についてはどちらともいえないが多い。

適切な支援の提供

地域との交流、長期休暇時の余暇、創作活動など、計画に盛り込み、適切な支援の提供が行われている。

関係機関や保護者との連携

保護者及び学校との情報共有や共通理解については高い評価を得ている。その他の項目では、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援について、「はい」はゼロ回答である。

保護者への説明責任等

本アンケート6分類の中では、一番高い評価がされた項目になっている。イベントに地域の方をお呼びするなど地域に開かれた事業所としての評価は高い。

非常時等の対応

職員に対する研修機会の確保、ヒヤリハット事例集を作成共有については評価が高いが、マニュアル策定及びその周知に対する評価はどちらともいえないが多い。

保護者による評価

※保護者46名にアンケート用紙を配布。
そのうち、23名がアンケートを実施。

環境・体制整備

利用スペースや設備、職員の配置数は適切であると概ね高い評価を頂いている。

適切な支援の提供

放課後児童クラブ等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるかについて23名中9名が「はい」と答えている。昨年度は、33名中5名が「はい」との答えだったので微増となっている。

保護者への説明責任等

子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達など、すべての項目について、高い評価をいただいている。

非常時等の対応

マニュアル策定及びその周知、必要な定期的訓練が行われているかについての項目は、約半数は、評価をいただいているが、どちらともいえないとのご意見も半数程度いただいている。

満足度

子どもが通所を楽しみにしているか、支援に満足しているか、との項目は前回に引き続き高い評価を得ている。

事業所内での分析

【共通点】

適切な支援の提供：ニーズや課題が分析された上で計画表が作成されている。活動プログラムの工夫について高い評価を得ている。

保護者への説明責任等：日頃、意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされた上で、状況や目標を保護者と共有し発達の状況や課題について共通理解することができている。

【相違点】

環境・体制整備：スペース、スタッフの配置、設備に関し保護者からは高い評価を受けているが、職員はどちらともいえないとの意見が多くあった。

分析・検討してみても…
昨年と比べ改善傾向にあるが、
まだ足りないところとして

事業所の強み

子どもたちが主体的に過ごせる放課後を目指して、本人、ご家族、職員が連携し、一人ひとりの希望に沿った放課後を試行錯誤している。互いの信頼関係を第一に協同してきた結果、子どもたちは通所を楽しみにし、ご家族も支援に対し満足してくださっていることが事業所の強みである。

青少年の地域活動拠点が同じフロアにあり、一緒に遊ぶことのできるプログラムを企画することで、子ども同士のつながりの場にもなっており、お互いが影響を受け、成長し合える関係も見られている。

事業所の改善点

保護者向けのアンケートでは、「地域の子どもと活動する機会」「非常災害の訓練」が低い数値になっている。実際には実施している取り組みであるが、保護者に十分に伝えられていないと考えられる。個々の子どもの様子を伝えるとともに、事業所としての取り組みを伝える必要がある。

非常時の対応については、館内での避難訓練は実施しているが、事業所の詳細なマニュアル策定と職員、保護者への周知が十分とは言えないので、改善に向けて取り組みたい。

～事業所の改善への取り組み～

引き続き、個々の子どもたちを理解し計画に沿って支援するとともに、地域の子どもの交流や避難訓練の機会を作り、保護者へもその様子を伝えていく。具体的には、家族連絡会や保護者への通信誌、面談の機会を有効に活用する。

非常時の対応については、マニュアルの整備に取り組み、各曜日の実情を考慮した避難計画を作成して避難訓練を実施していきたい。

年2回、独立した機関である法人型ホームの運営委員会で事業報告を行いご意見を頂戴している。また、地域のボランティアの方など第三者から直接、事業所の評価やご意見をいただき改善につなげているが、十分に職員と共有できていない面があった。ガイドライン自体への理解不足やマニュアルの周知不足も見受けられたため、職員間の情報共有を強化するとともに今一度学ぶ機会を設けて理解を促進したい。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

年に一度、アンケートにご協力いただくなかで、貴重な声を聞かせていただいていると感じている。改善できた項目もあれば、引き続き課題として残っている項目もある。何を評価してくださっているのか、何が足りていないのかを客観的に把握させていただく機会となっている。お伺いした声を具体的な取り組みとしてお応えができるように、この一年、事業の運営をしていきたい。

事業所名：地域活動ホーム 径 放課後等デイサービス ぴっころんど

担当者：管理者 庄司晃洋

児童発達支援管理責任者 水上武史